

2024年12月23日

各位

会社名 株式会社 Veritas In Silico
代表者名 代表取締役社長 中村 慎吾
(コード番号: 130A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理部長 萩原 宏昭
Email: ir@veritasinsilico.com

英国 Liverpool ChiroChem 社との mRNA を標的とした 低分子医薬品の共同開発及び商業化契約締結のお知らせ

さる10月9日付『英国 Liverpool ChiroChem 社との mRNA を標的とした低分子医薬品の共同創薬事業に関するパートナーシップ合意のお知らせ』でお知らせした合意事項にもとづき、当社は、Liverpool ChiroChem Ltd. (本社: 英国チェシャー州ランコーン、CEO 兼創業者: Dr Paul Colbon、以下「LCC」と表記) と、RNA 標的的低分子医薬品の創薬及び開発を目的とした共同創薬事業の実施内容や方法等の協議を進めております。これまでに行った協議を通じて LCC と当社が合意した内容に基づき、**Collaboration Development & Commercialisation Agreement** (共同開発及び商業化契約) を本日、調印締結する運びとなりましたので、お知らせいたします。

当社は、本年7月より LCC が保有する化学プラットフォーム PACE™ より 1,000 種を超える新たなキラルフラグメントについて、当社の創薬プラットフォーム **ibVIS®** を利用して、がん疾患、希少疾患、中枢神経系疾患、感染症への適応を想定した 10 個の mRNA 標的に対するスクリーニング分析を実施し、良好な結果を得ております。

今後は、LCC と当社の共同創薬事業として、ヒット化合物より有望なリガンド (新薬の候補となる物質) を得るために、10 個の mRNA 標的を中心に、開発プロジェクトを選択して、世界最新かつ最高峰レベルのアセット (フラグメント化合物) の創出、さらには将来の商業化を目指します。

● LCC CEO 兼創業者 Dr Paul Colbon コメント:

「両社のチームが協力して、VIS が検証した 10 個の mRNA ターゲットに対して LCC の持つフラグメントライブラリーを効率的にスクリーニングできたことを嬉しく思います。また、10 個の mRNA 標的すべてに対して新規の化合物を同定できたことは、素晴らしい成果であり、VIS の創薬プラットフォーム **ibVIS®** の性能の高さを証明するものと考えます。今後の開発プロジェクトや、リード化合物候補となるアセット (フラグメント化合物) の選択において、有力な選択肢を提供するものです。この共同創薬事業が、商業化や前臨床試験へ進展してゆくことを期待しています。」

● 当社代表取締役社長 中村慎吾コメント：

「LCC と VIS のパートナーシップは補完的であるだけでなく、包括的でもあります。最速のスピードで新規の低分子医薬品を創出し、その IP (Intellectual Property : 知的財産) を所有するというお互いの意図が、パートナーシップをさらに強固なものにしています。このパートナーシップは、現在計画している以上のことに応用できると考えており、最終的には創薬戦略をさらに拡大する可能性に期待しております。」

■ 今後の業績等への影響について

一般の契約締結は、当社の成長戦略にて KPI に設定している「新規契約の獲得」に該当するもので、2024 年 12 月 13 日付『2024 年 12 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ』でお知らせした“来年度（2025 年 12 月期）に獲得する新規契約（目標 4 件）”の 1 件目達成となります。

なお一般の契約締結においては、契約一時金の授受を行わない取り決めとしたため、本件契約締結に伴う収益等は発生せず、2024 年 12 月期の業績予想に変更は生じない見込です。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上